

建設業



建設産業の
今を伝え未来を考える

2

Feb. 2018

No. 495

特集

建設企業が行う 工業高校生採用活動の取り組み②



平成30年度 建築及び電気工事施工管理技術検定試験 1級学科・実地試験

受付期間

インターネット受付期間 平成30年2月2日(金)～2月16日(金)

書面受付期間 平成30年2月2日(金)～2月16日(金)

申込方法

受験の申込は、次の方法により手続きを行ってください。

(新規の方、再受験の方、前年度学科合格の方により、申込方法が異なります。)

- ①新規の受験申込者は、『必ず願書を購入し書面』によって申込手続きをしてください。
- ②再受験の申込者(※)は、『インターネット』または『願書を購入し書面』によって申込手続きをしてください。
- ③前年度学科合格の受験申込者は、『インターネット』または『本財団から送付する専用願書』によって申込手続きをしてください。

(※)再受験の申込者とは、

平成15年度以降の1級建築および電気工事施工管理技術検定学科試験または実地試験申込者(1級建築士合格者および技術士合格者)で、平成30年度の同一検定試験に再度受験申込をする方のことです。(ただし、平成15年度に前年度学科合格者の資格で実地試験の申込を行った方は除きます。)

《重要》・1級学科試験免除者の申込期間は、上記学科試験の申込期間と同じです。

・詳しくは、本財団ホームページ(<http://www.fcip-shiken.jp/>)、および受験の手引をご覧ください。

学科試験日 平成30年 6月10日(日)

実地試験日 平成30年10月14日(日)

試験地 札幌・仙台・東京・新潟・名古屋
大阪・広島・高松・福岡・沖縄

願書 1月19日(金)から販売します。

ご注意!!

インターネット申し込みをする場合は、事前に願書を購入する必要はありません。

願書取扱先

(一財)北海道開発協会 011-709-5212	(一社)北陸地域づくり協会 025-381-1301	(一社)四国クリエイト協会 087-822-1657
(一社)東北地域づくり協会 022-268-4192	(一社)中部地域づくり協会 052-962-9086	(一社)九州地域づくり協会 092-481-3784
(一社)公共建築協会 03-3523-0381	(一社)近畿建設協会 06-6947-0121	(一社)沖縄しまたて協会 098-879-2097
(一社)関東地域づくり協会 048-600-4131	(一社)中国建設弘済会 082-502-6934	

国土交通大臣指定試験機関

一般財団法人 建設業振興基金 試験研修本部

〒105-0001 東京都港区虎ノ門4丁目2番12号 虎ノ門4丁目MTビル2号館6階
電話 03(5473)1581

試験案内



www.fcip-shiken.jp



02

建設企業が行う 工業高校生採用活動の 取り組みについて

その2 知っておきたい
高校生の意識と高校生採用のルール

特集

I 高校生の意識(アンケート調査結果から)

- 1 就職志望の産業と志望の意識時期、その動機
- 2 就職活動のスタート時期と情報収集の手段
- 3 就職希望先企業を決めた時期と
求人票で見るうえで重視したポイント
- 4 就職希望先の企業について
- 5 就職活動中に知りたい情報

II 高校生採用のルールとスケジュール

- 高校生の求人～採用までの流れ
- 工業高校における進路指導の流れ(3学期制の場合)

08

FOCUS

厚生労働省建設労働者緊急育成支援事業 ～職業訓練卒業生との意見交換会～

PRESCRIPTION

10

日本経済の動向 アジアへの直接投資動向のポイント

11

建設経済の動向 賃上げ幅拡大も休日数に課題

12

連載 かわいい土木【第9回】

◆ 聖徳記念絵画館前通りのアスファルト舗装／東京都新宿区

14

しんこうTODAY 振興基金の活動報告

15

KALEIDOSCOPE

日本唯一の建設専門図書館 建設産業図書館

16

連載 空に近い和み空間へ 屋上散歩【第4回】

◆ 銀座出世地蔵尊(三越銀座店)

プレゼント付
アンケート実施中!
是非ご協力ください。

『建設業しんこう』は
Webでもご覧いただけます。

建設業
しんこうWeb

建設産業の今を伝え未来を考える



<https://www.shinko-web.jp/>

しんこうWeb

検索



特集

建設企業が行う

その2

工業高校生採用活動の取り組みについて

知っておきたい 高校生の意識と高校生採用のルール

はじめに

前号では工業高校生の採用活動について、建設企業の取り組みや工業高校の進路指導教諭のニーズを紹介しましたが、本号では、就職活動中の工業高校3年生と卒業式が終わり入職前研修を受講中の工業高校等卒業生の2グループに対して実施したアンケート結果と高校生に対する求人ルールについて紹介します。

高校生へのアンケート調査の概要

- 1 ヒアリング調査を行った工業高校のうち3校にご協力をいただき、求人解禁日後の3年生111名を対象に、企業の情報収集の時期や内容、就職希望先を決めるときに重視するポイント、就職活動の際にほしい情報などを調査した。
- 2 建設企業に内定した高校生を対象とした入職前集合研修（平成29年3月実施）の参加者115名を対象として、アンケートおよびヒアリングにより調査した。
(注) グラフ等に「内定者調査」と表記

I 高校生の意識（アンケート調査結果から）



1 就職志望の産業と志望の意識時期、その動機

今回のアンケートは東京都と神奈川県工業高校の建設系3年生を対象に7月から9月の間に実施したこともあり、就職志望の産業は「今、行こうとしている産業」をあらわすものとなった。 **次頁図1参照**

また、就職先の産業をいつから意識したかの問いに対しては、「小学校以前」7%、「小学校から」11%、「中学校から」30%となり、工業高校に入学する時点で約半数の生徒が将来進む産業を意識し、残りの半数が高校入学後に就職したい産業を決めている結果となっている。高校在学中

に行われる産業や職種を理解するための機会の重要性を改めて感じる結果となった。 **次頁図2参照**

志望産業で働きたいと思ったきっかけについては、「親や親戚がやっているから」の回答が多いが、これは高校入学前に約半数が就職する産業を意識している結果にもつながっていると考えられる。回答の多い順で「社会の役に立ちたいから」「手に職をつけたいから」「お金を稼ぎたいから」「ものを作るのが好きだから」と続いている。

次頁図3参照

図1

就職志望の産業は何ですか？

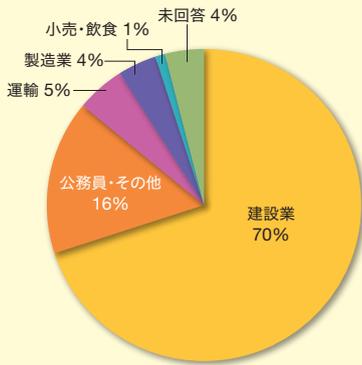


図2

就職をその産業にしようと思ったのはいつからですか？

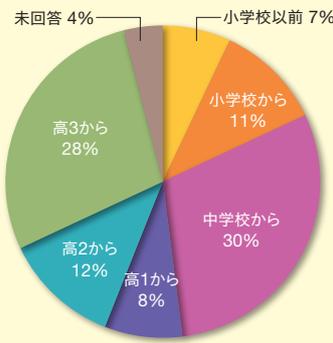
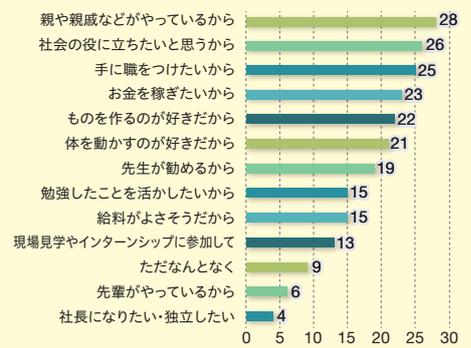


図3

志望産業で働きたいと思ったきっかけは何ですか？(単位:人 複数回答)



2 就職活動のスタート時期と情報収集の手段

就職活動については、P.6~7に掲載した進路指導の流れに詳細を記載しているが、学校側では入学早々から始まる進路指導や2年次等で行われる現場見学会、インターンシップなど、さまざまな取り組みにより就職の意識づけを行っていることなどから、アンケート結果からも「高2以前から情報収集を行っている」が26%、「高3になってすぐ」が51%と高校3年の求人活動開始日(7月1日)以前に就職活動を意識し情報収集を始めていることがわかった。

図4参照

また、その際にどのような機会や方法で調べたかについては、「昨年の求人票」が最も多く、続いて「ホームページ」となっている。毎年、継続して求人票を出していくことやホームページを整備することの重要性を示す結果となっている。 図5参照

その際の「情報収集した会社数」については、「2社」が最も多く、「4社以上」「3社」と続いているが、複数企業を比較検討したうえで企業を選定している結果となっている。

図6参照

図4

就職のための情報収集はいつから始めましたか？

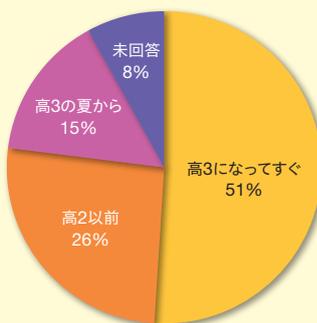


図5

企業の情報をどのような機会や方法で調べましたか？(単位:人 複数回答)

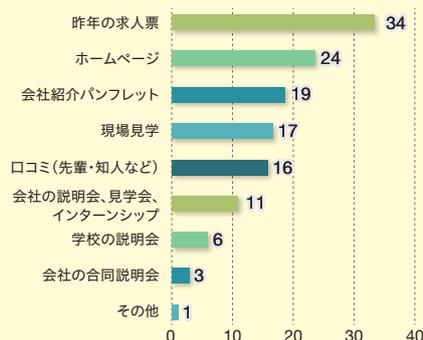
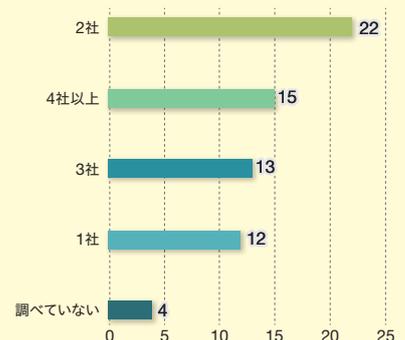


図6

何社ぐらいの情報を調べましたか？



3 就職希望先企業を決めた時期と求人票で見えるうえで重視したポイント

「解禁日(7月1日)の段階で入りたい会社が決定していたか」の問いに対して、「決まっていた」と回答した生徒が44%となっており、約半数近くの生徒が昨年の求人票の情報等をもとに、解禁日の時点ですでに意思決定を行っ

ていることがわかった。 次頁図7参照

また、求人票を見るうえで重視するポイントとして、最も多い回答が「勤務時間・休み」。次いで「給与(年収)」「勤務する場所」となっている。 次頁図8参照

図7

解禁日(7月1日)の段階で入りたい会社は決まっていたか?

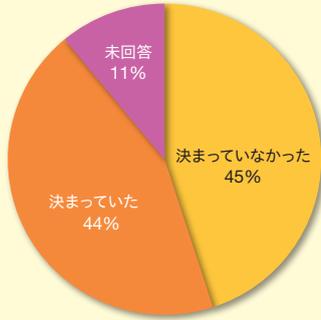
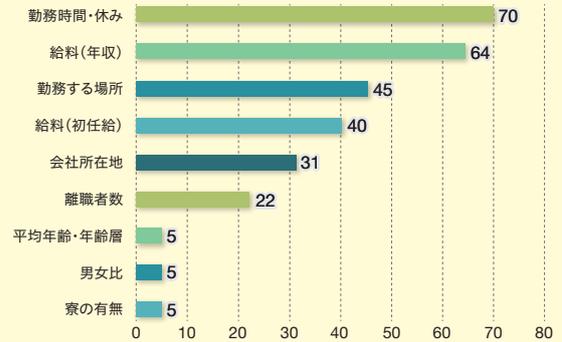


図8

求人票を見るうえで重視するポイントは何か? (単位:人 複数回答)



4 就職希望先の企業について

「就職希望先の会社を選択したのは誰ですか」の問いに対して、「自分」との回答が約70%となっているが、入職前研修に参加した内定者に対して、同様の趣旨の「就職意思決定の影響者」を3つまで回答してもらった結果は、「担任の先生」、「保護者(父親)」、「保護者(母親)」、「進路指導

の先生」の順に多い結果であることから、就職先の選定過程においては、「学校の先生」や「父親や母親」に相談しつつも、最終的に決めたのは「自分」であったということが推測される。 **図9、10参照**

図9

就職希望先を選択したのは誰ですか?

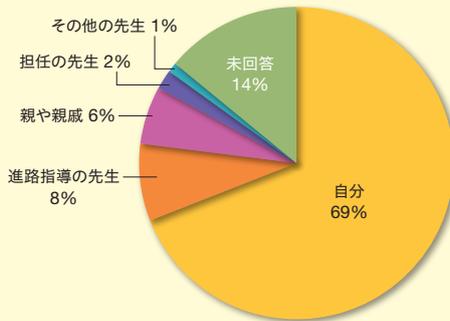
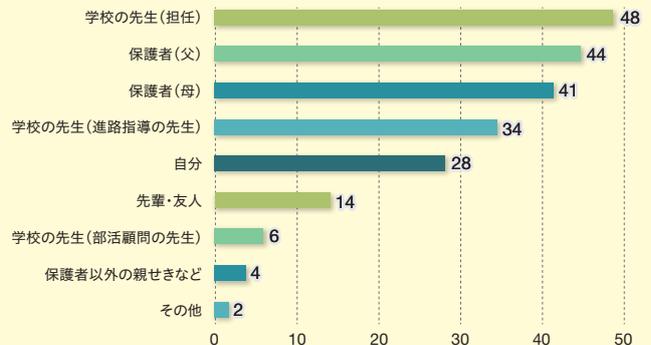


図10

就職意思決定の影響者(単位:人 複数回答)【内定者調査】



5 就職活動中に知りたい情報

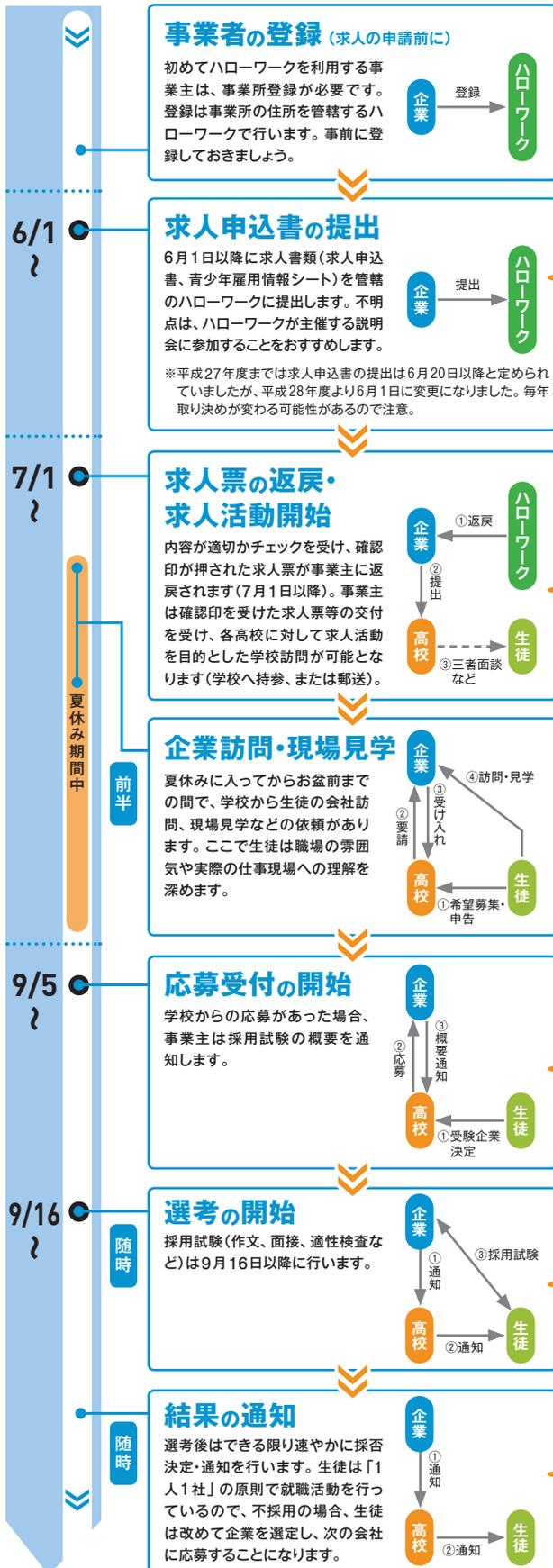
「就職活動をしていてこんな情報があればいいのと思うことはありますか。」との質問(自由記述)に対し、「身近な先輩からの情報を聞く機会を増やしてほしい」や「会社の雰囲気や上下関係が知りたい」などの「会社の生の情報」をもとめる意見が多くみられ、会社情報の発信ツール

であるホームページについては、「入社1~2年目の社員の声があったらよいと思う」「職場の写真や作業中の写真があるとよいと思う」「実際の作業風景の動画があるとよいと思う」など、企業が発信している情報と生徒がほしい情報のギャップが感じられる結果となっている。



II 高校生採用のルールとスケジュール

■ 高校生の求人～採用までの流れ



Check!
年度ごとに取り決めが変わる場合も
提出期限など、年度によって取り決めが変わる可能性もあります。不備によって提出が受け付けられないなどを避けるためにも、事前にその年度の取り決めをしっかりと確認しましょう。

学科ごと・職種別に作成を
求人票は「対象学科ごと」に、もしくは「職種別」に作成しましょう。1校に複数枚の求人票を提出することが可能となり、生徒の目に触れるチャンスが増えます。

生徒が見る書類だと意識した「書き方」を
一旦ハローワークに提出した求人書類は、最終的には生徒が企業検討の際に、実際に見る資料になります。生徒が気にしているポイントが余白になっていることなどがないよう、しっかりと記入しましょう。

Check!
直接持参で情報共有
求人票は、できれば学校(進路指導室)へ直接持参して、学校の情報や求人の状況などを確認しましょう。



Check!
生徒1人が一度に応募できるのは1社のみ
生徒が応募できるのは、基本的に一定期間までは1社となります(1人1社制)。都道府県ごとのルールが設けられていますので、不明点は学校(進路指導担当)に確認してください。

Check!
互いをしっかり確認する場
直接生徒と話ができる機会を、有効に活用しましょう。生徒の質問には、丁寧かつ具体的に説明しましょう。

Check!
採否の連絡は速やかに
生徒は「1人1社」の原則で就職活動を行っています。万が一、1次募集時期で不採用となってしまった場合は、速やかに2次募集時期に向けて動きます。生徒の将来のためにも配慮しましょう。

必ずおさえない基本の

3つのルール

RULE 1

ハローワークの手続きとそのスケジュールを知ろう

求人申込書の提出、求人票の返戻、学校への求人票の送付または訪問、推薦開始日、選考開始期日はそれぞれ規制があります。詳しくは左のチャート図を参照ください。また、年度によって日程が変更になる場合がありますので、必ず事業所を管轄するハローワークにおたずねください。

RULE 2

1人1社制というルール

1人の生徒が、ある会社の募集に応募した場合、一定期間についてはその選考結果が決まらない限り、他の会社の求人に応募できない就職慣行があります。不採用の場合、通知が遅れると生徒が他社へ応募する機会が失われます。採否は選考後、速やかに決定し極力7日以内に学校を通じて本人に通知してください。

RULE 3

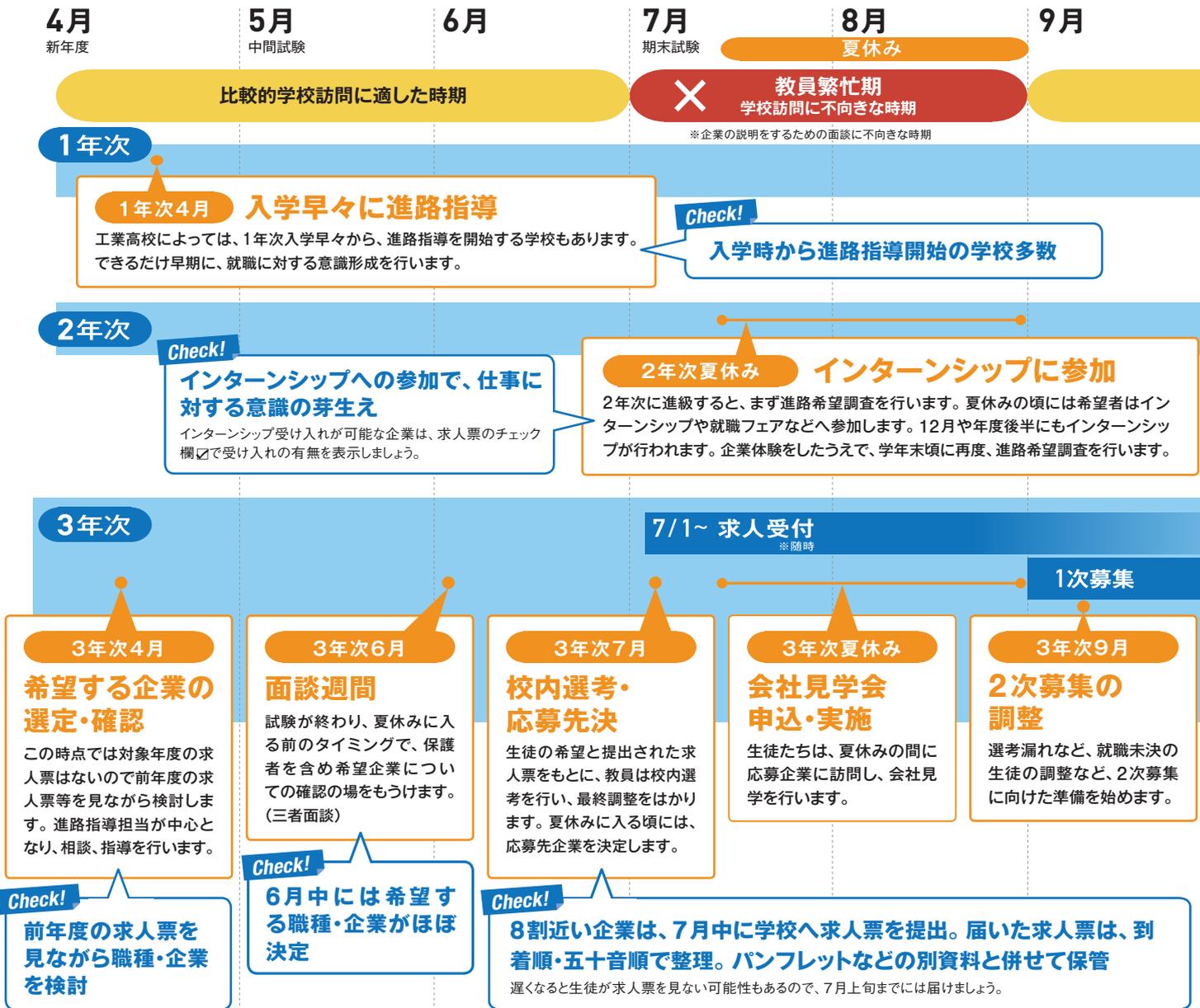
求人活動は学校を通じて行われます

高校生の採用について、求人票の提出、応募の受付、生徒への連絡等はすべて学校を通じて行います。企業が直接家庭訪問をするといったことは禁止されています。

2次選考

1次募集で不採用となった生徒の選考が再度始まります。10月に入ってから採用可能である企業は、学校側に状況を確認しましょう。

工業高校における進路指導の流れ（3学期制の場合）



求人票作成の5つのテクニック

TECHNIC ①

募集を希望する学校がある場合は「指定校求人」に

高校を指定して求人する「指定校求人」と、高校を指定せずどの高校からも応募できる「公開求人」があり、いずれかを選択できます。多くの企業は推薦依頼校を「指定校」としており、「指定校求人」により企業も高校もより確度の高い採用につなげています。

TECHNIC ②

求人票で生徒が重視する項目は、給与、勤務地や離職率

生徒が求人票の項目の中で重視しているポイントは、休日、給与、勤務地、離職率などが多く、離職率については、直近3事業年度の離職者数を求人申込書類に記載することになっています。求人票等への記載は高校生にもわかりやすく記載することが効果的です。

TECHNIC ③

応募前の職場見学は積極的に

生徒が応募前に職場見学を行うことは、職業や企業の理解を深め、自分の目で応募先企業を選ぶ良い機会となります。また、生徒に採用選考前に直接会える貴重な場となります。この機会を積極的に活用しましょう。

10月
中間試験・文化祭

11月

12月
期末試験

1月
卒業試験(3年生)

2月
入試・学期末試験(1・2年生)

3月
卒業式・教員の異動

比較的學校訪問に適した時期

✕ 學校訪問に不向きな時期

※企業の説明をするための面談に不向きな時期



9/5~ 応募受付、9/16~ 採用試験、
9/末 採否通知

2次募集 10月以降随時 ※不採用の場合

12月ほぼ決定



(注)ヒアリング調査等を参考に事務局が作成したものであり、高校によってはスケジュールが異なることがあります。スケジュールは、各訪問先工業高校に確認してください。

TECHNIC ④

パンフレットやインターネットを活用

求人票に記載できる内容には限界があります。生徒は興味を持った企業について、パンフレットやホームページを通じて情報収集を行います。求人票にパンフレットを添付することやホームページを活用してより多くの情報を発信することが不可欠といえます。

TECHNIC ⑤

求人票は持参して情報共有を図りましょう

求人票がハローワークから返戻されたら、企業から学校へいち早く届けることが鉄則です。7月1日の求人活動開始日以降、近年では生徒数を大きく上回る数の求人票が学校に届きます。求人活動開始日以前に学校訪問を行い、企業説明などを行っておくことに加えて、求人票の状況を知るためにも、求人票は持参することをお勧めします。

調査報告書のダウンロードとお問い合わせ

前号、今月号で紹介した調査報告書は、本財団ホームページから閲覧、ダウンロードが可能となっていますのでご利用ください。

http://www.kensetsu-kikin.or.jp/database/pdf/kikin2018_1228.pdf

本調査についての問い合わせ先
一般財団法人 建設業振興基金
企画広報部

Tel:03-5473-4584



FOCUS

平成27年度よりスタートした建設労働者緊急育成支援事業は3年目を迎えました。折り返し地点となった今年度、職業訓練卒業生のフォローアップの一環として就職した方を対象とした全拠点初の意見交換会を長崎拠点において、平成27、28年度に訓練を卒業し、現在、長崎県内の建設会社で働いている4名の方に参加いただき開催しました。



平成27年度第2回躯体系技能者(鉄筋)コース 平成28年2月1日～3月31日



有限会社林田鉄筋工業(鉄筋工)
迫 智哉 さん

現在の仕事

鉄筋で柱、梁を組んでいます。



有限会社林田鉄筋工業(鉄筋工)
藤田 泰亮 さん

現在の仕事

迫くんと同じような仕事をしています。最近は、図面を見れるようになりました。

平成28年度第1回技能工(型枠大工)養成講座 平成28年6月27日～8月26日



本田建設有限会社(型枠工)
本田 賢太郎 さん

現在の仕事

カステラ工場、レストランの新築工事の仕事をしています。



原田建設工業有限会社(型枠工)
川原 勝太 さん

現在の仕事

寄宿舎施設、ダム、高速の耐震工事などに携わっています。

Q1 訓練を受けて入社し、良かったと思うことを教えてください。

迫さん



訓練に2級鉄筋施工技能士の実技内容が組み込まれていたので一連の流れを勉強し訓練できました。周りの人もよい人達ばかりで楽しく学ぶことができ資格も取得できました。

本田さん



様々な年齢の人(20、30、40代)と共に訓練でき、人付き合いができたことが良かったですね。

以前は全く違う業界にいたため、訓練というステップを踏んでから就職したことで仕事にすんなり入っていくことができました。

藤田さん



実際の作業現場を見ることができ、就職後の自分をイメージすることができました。

川原さん



Q2 実際に働いてみて訓練との違いはありますか？

鉄筋の重さ、太さが全然違いました。初めは図面の数字が分からなかったのですが、今は少し覚ええました。夏の作業は暑いです。

迫さん



藤田さん



訓練を受けていたので図面の見方など、会社側はもうちょっと分かっていると思っていたようです。図面の見方は難しく初めは分からなかったのですが、だんだん分かるようになってきました。

やはり訓練と現場での仕事ではギャップがありますね。覚悟はしていましたが会社によっていろいろなやり方があるので慣れるまで大変でした。

本田さん



川原さん



基本的なことは訓練も現場もそのままでした。図面の見方は教えてもらっていないので苦労しました。

厚生労働省建設労働者緊急育成支援事業 ～職業訓練卒業生との意見交換会～



Q3 現在つらいことや不安に思っていることはありますか？



不安だらけです。仕事を雰囲気です。理解してやっているつもりですが、ちゃんとできていないか不安です。

良い人達に恵まれて楽しく仕事できています。鉄筋工は若い人が多いです。屋外の仕事なので夏は当然暑く、つらいですね。更に鉄筋も熱くなるので暑さ倍増です。



今の現場は休みが日曜日のみで朝早いのがつらいです。分かっていますが休みがもう少しあるといいです。

年配の人が多く若い人がいません。直近の先輩はほとんどが50代、60代です。若い人がもっと入ってくるような業界になればいいと思っています。

川原さん



Q4 入職して感じる建設業の魅力とやりがいは？

迫さん

できることが一つ一つ多くなり分らなかったことが自分で考えてできるようになることです。

もともと体を動かすことが好きだったので、この仕事は自分にむいています。どんなに大変な仕事でも終わった後ビールを飲んで「また次の日も頑張れる!」と思えるほどビールがうまいです。

藤田さん



本田さん

「これオレが造ったんだよ!」と周りの人に自慢できる。やって良かったと思います。そういう建物が一つひとつ増えていくのがうれしいです。

仕事は全力で取り組んでいます。その分、現場には思い入れがあります。ひとつの現場が終わるごとに達成感! やりがいを感じます。



川原さん

Q5 直近の目標を教えてください。

早く図面が読めるようになりたいです。自分が任せられた仕事を最後まで責任をもってやることです。



まだまだ努力が必要ですが、現場を任せられるようになることです。

祝 藤田さんはこの訓練を卒業し安定した職に就けたことで結婚が決まりました。

1ミリもくわれないようなきれいな仕事をする事です。色々経験し資格も取得して早く一人前になりたいです。将来は独立を考えています。

本田さん



現場を任せられ、現場の人達といろいろ討論しながら仕事を進めていけるようになりたいです。目指すは職長!



迫さん



訓練卒業生へのメッセージ



長崎県建設産業団体連合会
岩本 宗裕 事務局長

訓練中は基礎を学んだと思いますが、これからは現場実践で経験を積み、しっかり技術を身につけて、気合いをもって仕事をしてほしい。



長崎県鉄筋工事業協同組合
滋賀 祐美 事務局長

暑い夏を良く越せたと思います。久々に会ったときに皆さんが職人の顔になっていたのに驚きました。これから頑張ってください。



長崎県型枠工事業協同組合
松本 ミユキ 事務局長

重い建設資材を持つのが大変だと話に聞いていました。必ずついてくる若い人が現れると思うので、体気をつけて頑張ってください。

事務局より

訓練卒業生の元気な様子をうかがうことができ安心できました。今後、たくさんの壁にぶつかることもあるかと思いますが、乗り越えながら成長、活躍していただければ嬉しいです。また、今回貴重なご意見をいただきましたので、今後の事業実施に役立てていきます。



中国とタイへの投資の増加、ハイテク投資に注目

アジアへの直接投資動向のポイント

みずほ総合研究所 チーフエコノミスト 高田 創

日本企業にとってアジア各国は、大きな消費市場であるとともに重要な生産拠点である。近年の日本のアジアへの直接投資動向をみると、中国向けが増加する一方、ASEAN(東南アジア諸国連合)向けが伸び悩んでいる。今回は、これら日本のアジアへの直接投資動向の背景や、今後の注目点などについて解説する。

中国への直接投資に再び関心が高まる

日本企業の対アジア直接投資は、2015年下期以降伸び悩んでいた中国向けが、16年下期以降、再度増加に転じている(図1)。一方、ASEAN5(タイ、ベトナム、マレーシア、インドネシア、フィリピン)向けは、非製造業の投資は内需の厚みがある国では堅調だったが、インドネシアで輸送機械の投資が一巡したことなどから製造業の投資が伸び悩んだため、高水準を維持しているものの、17年上期は減少した。中国向けは依然としてASEAN5向けを下回る水準にあるものの、増加傾向を続けており、再び中国への関心が高まってきたことに注目が必要である。

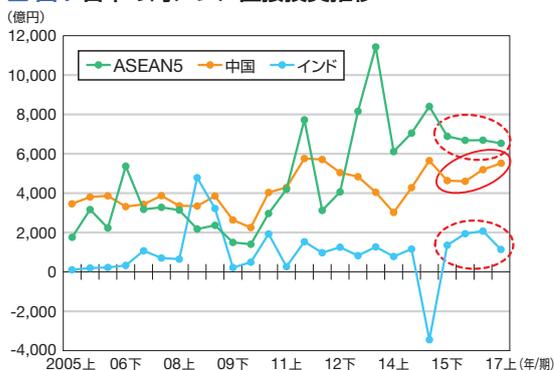
日本の対中国直接投資動向を、半期ごとに製造業と非製造業に分けると、16年下期以降、特に製造業の増加が目立つ(図2)。この背景には、中国政府が第13次五カ年計画(16~20年)およびその次の五カ年計画を見据えて、製造業のグレードアップを図る「中国製造2025」計画を進めており、生産工程のオートメーション化需要の拡大を受けた工作機械や関連製品の生産や、輸入代替を目指す半導体製造設備の設置がある。その結果、日系製造業の投資が底堅いものになっている。

タイへの投資にも注目

一方、ASEAN5向けの直接投資の国別推移をみると、タイ向けの増加が目立っている(図3)。日本企業が集積するタイでは17年以降、自動車関連の増加が著しい。さらにタイでは、政府が「タイランド4.0」構想を打ち出し、タイの製造業を重化学工業中心の「タイランド3.0」から、ハイテク中心の高付加価値産業へ高度化しようとしている。こうした構想に対する日本企業の注目が高まったことも、タイへの投資の押し上げ要因になったと考えられる。

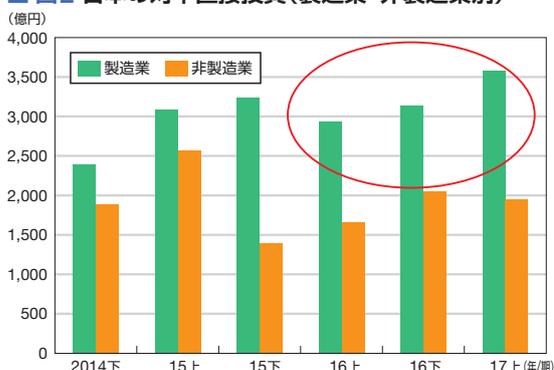
以上のようにアジア経済は、中国やタイを中心に一段と産業構造が高度化するなか、日本からの投資を重視する動きが拡大すると展望される。したがって今後は、中国の環境規制やタイの政治情勢など、投資に影響を与える各国の動向の十分な把握と分析が日本企業に求められよう。

■ 図1 日本の対アジア直接投資推移



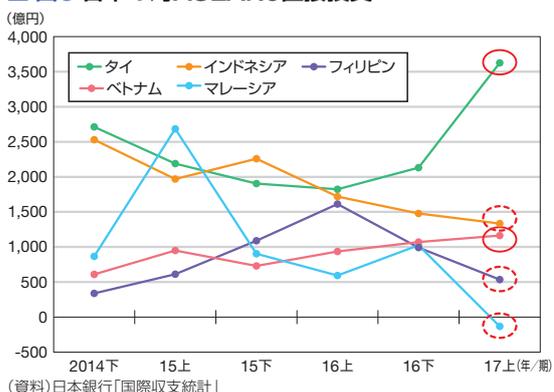
(注)1. アジアの中から、ASEAN5・中国・インドを抽出。
2. データは、四半期統計の2期合算。
(資料)日本銀行「国際収支統計」

■ 図2 日本の対中直接投資(製造業・非製造業別)

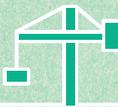


(資料)日本銀行「国際収支統計」

■ 図3 日本の対ASEAN5直接投資



(資料)日本銀行「国際収支統計」



建設業の待遇改善

賃上げ幅拡大も休日数に課題

日経コンストラクション編集長 野中 賢

近年、業績の良さが目立つ建設会社。それを反映して、2017年の建設会社の平均賃上げ幅は他業種に比べて大きく、ベースアップの実施率も高かったことが分かった。一方、待遇面で課題が残るのは休日だ。週休2日相当の休みとなる「4週8休」を実施している企業は2割に満たない。働き方改革の余地はまだ大きいと言えそうだ。

昨年11月号の本欄で、主要建設会社の2016年度決算の動向について取り上げた。大成建設、鹿島、大林組、清水建設の大手4社では、いずれも2期連続で連結純利益が最高値を更新するなど、建設会社の業績はおしなべて好調であることをお伝えした。

このような好業績の下、かねて課題と言われてきた社員の待遇改善は進んでいるのだろうか。2017年11月に公表された2つの調査結果を通して見ていこう。

賃上げ幅は全15業種中で最大 ベースアップ実施率も3割以上

厚生労働省の「賃金引上げ等の実態に関する調査」によると、2017年の所定内賃金の引き上げ額は、建設業が1人当たり月額8,411円と、全15産業の中で最も大きかった。全産業平均は5,627円だった(図1)。

建設業の賃上げを率で見ると2.5%で、全産業の2%を0.5ポイント上回った。国土交通省が公共工事の設計労務単価を大幅に引き上げた2013年ごろから、全産業平均に比べて上げ幅が拡大しており、こうした政策の効果が賃金上昇の一因と考えられる。なお、直前の2012年時点では、建設業の賃金引き上げ幅は全産業中4番目だった。

定期昇給を含め、2017年に賃金の引き上げを実施した、または実施予定と答えた建設会社は全体の97.1%に上った。そのうち、70.7%が管理職を、83.1%が一般職を対象とした定期昇給制度を持っている。

建設業では、管理職と一般職ともに、定期昇給制度を持つ会社の3割以上がベースアップを実施している。全産業でベースアップを行った会社の割合は、管理職が22.9%、一般職が26.8%となっており、ここからも建設産業の待遇改善が進んでいる様子が読み取れる。

休日は「4週6休」の企業が最多 「4週8休」は2割以下にとどまる

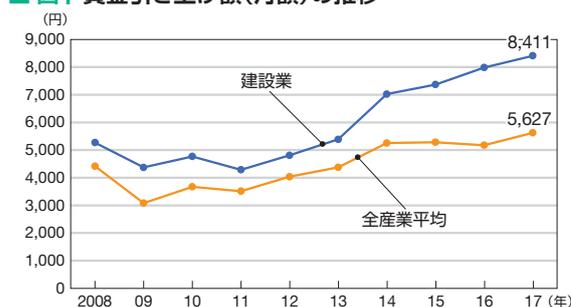
一方で、まだ改善の余地が大きいのが休日だ。全国建設

業協会(全建)が会員企業を対象に実施した「働き方改革の推進に向けた取り組み状況等に関するアンケート調査」の結果を見ると、週休2日相当の休みを確保している企業の割合は2割に満たないことが分かる(図2)。

4週単位で休日数を尋ねたところ、「おおむね4週6休」と答えた企業が最も多く、全体の54.8%を占めた。「4週8休」は16.7%にとどまり、「4週5休」と「4週7休」がともに12.3%。「4週4休以下」と答えた企業も4%あり、週休2日の普及には遠い状況にあることがうかがえる。

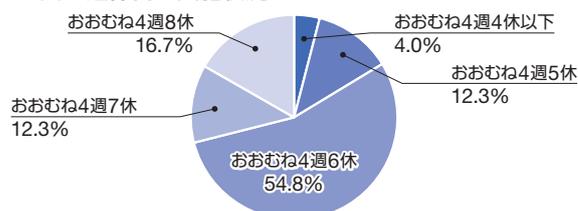
長時間労働の是正や週休2日の普及に向けて必要と考える取り組みについては、「適正な工期の設定」とする回答が最も多く、「提出書類の簡素化・削減」、「設計労務単価の大幅引き上げ」がこれに続いた。また、長時間労働を解消するには生産性の向上が有効だが、i-Constructionの推進に向けた機器などの導入に関して、「導入したいがそのゆとりはない」とする企業が最も多く、35.6%に上った。

■ 図1 賃金引き上げ額(月額)の推移



(注)厚生労働省の「賃金引上げ等の実態に関する調査」の結果を基に作成。パートなども含む労働者の所定内賃金の平均引き上げ額(月額)を示した。調査は毎年8月(2008年のみ9月)に実施し、表示した金額は同年12月までの予定を含む。

■ 図2 週休日の実施状況



(注)全国建設業協会が2017年11月に発表した「働き方改革の推進に向けた取り組み状況等に関するアンケート調査」の結果を基に作成。回答数は3,614社。



華麗な都市景観の足下を支え続けて1世紀

聖徳記念絵画館前通りのアスファルト舗装 / 東京都新宿区

東京の明治神宮外苑の中の道路は、大正末に当時最新鋭の工法でアスファルト舗装が施された。聖徳記念絵画館前に、今もその一部が現役の車道として残っている。現在の一般的なアスファルト舗装の寿命をはるかに上回る“長老”には、ドボかわいいというよりもむしろ「ドボかっこいい」という言葉がふさわしい。

Photo・Text：フリーライター 三上 美絵

大成建設広報部勤務を経てフリーライターとなる。「日経コンストラクション」(日経BP社)や土木学会誌などの建設系雑誌を中心に記事を執筆。広報研修講師、社内報コンペティション審査員。著書「土木の広報～『対話』でよみがえる誇りとやりがい～」(日経BP社刊、共著)



東京に暮らす人は、「絵画館」と聞くとすぐ、イチョウ並木の奥にドーム屋根の荘厳な建物を見通す風景を思い浮かべるのではないだろうか。テレビや新聞のニュース番組では、季節ごとに必ずと言っていいほど使われるシーンだ。

直進道路の突き当たりに記念碑的な建物などが見える眺めを「ビスタ景観」と呼ぶ。パリのシャンゼリゼ通りの先にドンと構える凱旋門や、オペラ座通りの先に見えるオペラ座などに代表されるように、ゴージャスで優美な風景だ。

明治神宮外苑の聖徳記念絵画館前も、ヨーロッパのような美しい景観で人気の観光名所になっている。だが、その足下の道路が、現存する日本最古級のアスファル

ト舗装であることは、恐らくあまり知られていない。

生きてきた歳月を刻む 深い皺

ある晴れた冬の午後、絵画館前を訪れた私は思わず「！」となった。土木学会選奨土木遺産にも認定されている貴重な舗装の上を大勢のランナーが土足で駆け抜けていく。スポーツ用品メーカー主催のランニングイベントのスタート&ゴール地点になっていたのだ。

もちろん、ランナーたちには何の非もない。だが、彼らに容赦なく踏みつけられているのは、施工から1世紀近く頑張ってきた長老の舗装だ。つい「もう少しいた

わってあげて」と思ってしまう。そんな心配をよそに、舗装は表面に深い皺をたたえながら、平然と重みに耐えていた。

明治神宮外苑は、明治天皇の遺徳を後世へ伝えることを目的として、1926(大正15)年につくられた西洋庭園だ。敷地内には、在世中の出来事を描いた壁画を展示する聖徳記念絵画館のほか、神宮球場や建て替え中の国立競技場などがある。

絵画館を囲む楕円形の周回道路は、ビスタ景観を形作る直進道路で青山通りと結ばれている。これらの苑内道路は外苑の建設と同時に整備されたもので、交通と美観に配慮して電線や水道管、配水管、ガス管などをすべて地下埋設としている。

舗装には、アメリカのワーレンブラザー



大勢のランナーが走っても舗装はびくともしない。

絵画館前通りから建設中の新国立競技場が見える。古い舗装との対比が面白い。



聖徳記念絵画館と歩道、車道は大正時代に一体的に整備された。絵画館には、西郷隆盛と勝海舟の会談風景を描いた、歴史教科書でおなじみの「江戸開城談判」の壁画も展示されている。

ス社が1900年頃に特許を取得した「ワービット工法」を日本で初めて採用した。周回道路を横切る絵画館前通りに現存しているのが、このとき施工された舗装の一部だ。

体を張って 丈夫さを今に伝える

ワービット工法の正式名称は「ワーレナイト・ピチュリシック工法」という。ピチュリシックは「ピチューメン」、すなわち瀝青（れきせい＝天然アスファルト）を指す。

この工法は、粒の粗さの異なる2種類のアスファルト混合物を重ねて敷き、2層を同時に転圧して仕上げるのが特徴。アスファルトが少量ですむため工事費が安価なうえ、耐久性が高いことから、その後、阪神国道や皇居前道路など広く採用された。ところが、1950年代に機械化が進むと、機械の特性に依存して1層ずつ敷き均す工法が普及。ワービット工法は歴史の中に埋没していった。

しかし、消えたかと思われた2層同時舗装の工法は、形を変えて現代に蘇り、今再び脚光を浴びている。都市型洪水の対策として普及しつつある2層排水性舗装もその一つ。また、インフラ長寿命化のニーズからも見直され、新材料との組み合わせによる耐久性のさらなる向上が研究されている。

一般に、アスファルト舗装の寿命は10年から20年。2018年で93歳を迎える絵画館前通りは、けなげにも体を張って2層同時舗装の丈夫さを実証している。



グレーチング(排水口の蓋)もなんだかおしゃれ。建物の軸線と位置を合わせたという細やかさに脱帽する。



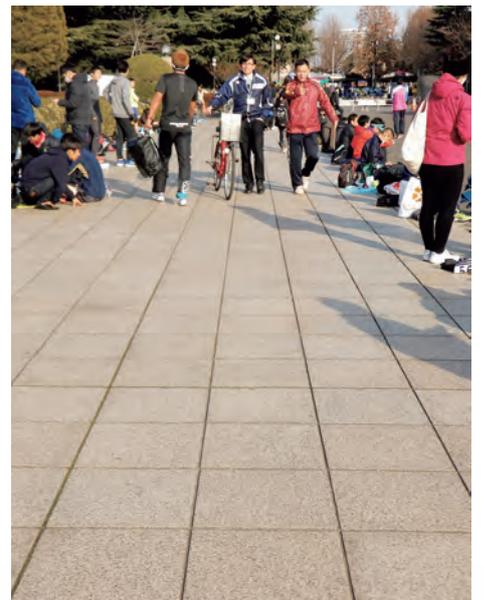
深い皺を刻んだ舗装面。ポットホール(穴)などはほとんど見当たらない。



新宿区土木部による説明板に、ワービット工法の施工時の写真があった。

アクセス

聖徳記念絵画館前通りへはJR総武線信濃町駅から徒歩5分。直進道路入口へは地下鉄銀座線・都営大江戸線青山一丁目駅、銀座線外苑前駅からそれぞれ5分。



サクラ御影石の歩道敷石は端正な表情。



説明板には、1993年に採取した舗装断面の実物が埋め込まれている。

平成30年度 建築・電気工事施工管理技術検定試験実施日程について

1 1級建築・電気工事施工管理技術検定試験

(1) 学科試験

申込受付期間	平成30年2月 2日(金)～2月16日(金)
試験日	平成30年6月10日(日)
試験地	10地区 札幌・仙台・東京・新潟・名古屋・大阪・広島・高松・福岡・沖縄
合格発表日	平成30年7月20日(金)

(2) 実地試験

申込受付期間	(a)前年度学科試験合格者 および学科試験免除者 平成30年2月 2日(金)～2月16日(金) (b)当年度学科試験合格者 平成30年7月20日(金)～8月 3日(金)
試験日	平成30年10月14日(日)
試験地	10地区 札幌・仙台・東京・新潟・名古屋・大阪・広島・高松・福岡・沖縄
合格発表日	平成31年2月1日(金)

2 2級建築・電気工事施工管理技術検定試験

(1) 学科のみ試験(前期)

申込受付期間	平成30年3月 9日(金)～3月23日(金)
試験日	平成30年6月10日(日)
試験地	10地区 札幌・仙台・東京・新潟・名古屋・大阪・広島・高松・福岡・沖縄
合格発表日	平成30年7月6日(金)

(2) 学科のみ試験(後期)

申込受付期間	平成30年 7月 6日(金)～7月20日(金)
試験日	平成30年11月11日(日)
試験地	21地区(()内は学校申込の開催地区) 札幌(帯広)青森(盛岡)(秋田)仙台東京新潟 金沢(長野)名古屋大阪(出雲)(倉敷)広島 高松(高知)福岡(長崎)鹿児島沖縄
合格発表日	平成31年1月25日(金)

(3) 学科・実地試験および実地のみ試験

申込受付期間	(a)前年度学科試験合格者 平成30年2月2日(金)～2月16日(金) (b)学科・実地試験および実地のみ試験 (学科試験免除者) 平成30年7月6日(金)～7月20日(金)
試験日	平成30年11月11日(日)
試験地	13地区 札幌・青森・仙台・東京・新潟・金沢・名古屋・大阪・広島・高松・福岡・鹿児島・沖縄
合格発表日	平成31年2月1日(金)

3 申込方法

願書購入(受検申請書)による書面申込、または、インターネット申込

- インターネット申込ができる方は、所定の要件を満たした方のみです
- 前年度学科試験合格者の書面申込は、専用願書(受検申請書)による申込となります
- 2級試験の書面申込は、申込区分により願書(受検申請書)が3種類に分かれています(申込区分:“学科のみ試験”、“学科・実地試験”、“実地のみ試験”)

詳細はこちらをご覧ください <http://www.fcip-shiken.jp/>

プレゼント付

「建設業しんこう」に関するアンケート実施中!

このたび「建設業しんこう」のよりいっそうの誌面の充実を図るため、アンケート調査を実施しております。誌面に挟み込みの用紙にご記入いただきFAXでお送りいただく他、本財団ホームページからもご回答いただけます。アンケート項目は6問ですので是非ご協力くださいますよう宜しくお願いいたします。

インターネットからもアンケートにご回答いただけます。
<https://www.shinko-web.jp/enquete-form/>

携帯・スマートフォンはこちら ⇨



アンケートにお答え頂いた方の中から抽選で100名様にQUOカード500円分を贈呈いたします。



銀座出世地蔵尊(三越銀座店)

いまや世界中から多くの観光客が訪れる銀座四丁目。ここに大人気のパワースポットが存在する。その名は「銀座出世地蔵尊」。なんと、三越銀座店の屋上にあるのだ。

同店の9階は「銀座テラス」として、買い物客が気軽に休める休憩スペースと、芝生広場や四季の草木が広がる「テラスガーデン」、屋上農園「テラスファーム」など、東京の一等地にありながらもゆったりとした空間が広がる憩いの場所。向かいには銀座和光の大きな時計も見える。この場所の一角にあるのが、銀座出世地蔵尊だ。

そもそもなぜお地蔵さまが屋上に安置されるようになったのだろうか。それには2つのいわれがあるが、一つは文久元年(1861年)に三十間堀(現在の銀座4丁目10番地付近)の護岸工事中、地中から掘り起こされたのがこのお地蔵様だったと言われている。その後、銀座4丁目3番地(現在の7番地)の道端に祀られることとなった。しかし戦後、銀座が華やかになっていくにつれ、お供え物を野良犬などに食べられたり、酔っぱらいにいたずらされたりしたことも。そこで、1968年、同店の大

改装に合わせて、屋上に引っ越すことになった。移転に伴ってお堂も作られ、築地本願寺により開所法要も行われた。“路上のお地蔵様が、いつのまにか大きな百貨店の屋上に上り詰めた”というサクセスストーリーから、お地蔵様は



写真右側の神社は三因神社。三越の前身・三井家の守護神として三越本支店に祀られている。

いつのまにか「出世地蔵尊」と呼ばれ始め、現在では全国各地から多くの人々が、参拝に訪れている人気スポットになったのだ。

「出世地蔵尊はますます人気が高まり、出世に限らず、就職や受験の合格祈願などにも訪れる人もいます。またお地蔵様をお世話する銀座出世地蔵尊奉賛会の会員も年々増え続けているんです」と、三越銀座店総務部渉外担当田中一宏さん。現在、国内外を含めて約1,500名の会員がおり、4月と10月の例大祭には多くの会員が駆けつけるという。

通常はお堂の扉は閉められているが、例大祭、そして毎月7日(土・日曜の場合は前金曜)には、御開帳される出世地蔵尊。買い物帰りに、ちょっとお参りしていきたい場所だ。

(取材・文 浦島 茂世)



銀座出世地蔵尊が安置されているお堂は昨年12月に修復されたばかり。(※取材のため特別に御開帳)



出世地蔵尊の分身像は1976年の建立。仏像画の大家・扇鰯宝氏の復刻原画により、石彫家岩城信嘉氏が手掛けたもの。

出世地蔵尊への行き方

東京メトロ銀座線・丸の内線・日比谷線「銀座駅」より直結
 参拝は三越銀座店営業時間(10:30~20:00)

※荒天の場合、屋上庭園閉鎖の場合もあり。

社務所の開所中(11時~12時、13時~15時)はおみくじや、寄進のろうそく、柘植で作られた手彫りの出世地蔵尊の根付けも購入できる。



ゲット
GET

求人企業の皆様へ！
職業訓練修了者を
紹介します！

求人企業は
登録無料
訓練修了生の採用の
**手数料も
不要**

国が5カ年計画で“建設業の人材確保・育成”を実施！

建設技能労働者の確保・育成対策の一つとして、**離転職者、新卒者、未就職卒業者等**のうち、建設業での就業を希望している方を全国で募集し、必要な**職業訓練(座学・実技講習+資格取得)**を無償で実施した上で、建設業への就職支援を実施しています。



基礎的な技能や資格を
職業訓練で取得しているので、
一からの教育が不要



ベタランの職人が講師となり
基礎技能の習得(座学・実習)



移動式クレーン
運転士(5t以上)



高所作業車
運転技能講習



フォークリフト
運転技能講習



玉掛け技能講習

建設現場でニーズの高い資格を取得

本事業の職業訓練修了者とのマッチングを希望される場合

ホームページ GET で、求人情報の登録

<http://www.kensetsu-kikin.or.jp/kunren/get>

求人情報として求職者へ提供



登録した
求人情報を
掲載

求人企業の
所在地企業情報、
雇用条件など
随時更新

求職者には、専用WEBサイトを通じて、求人企業の情報を開示します。求職者が求人企業への就職を希望した場合は、求人企業まで連絡します。

これまで**1,140人**
(訓練終了者のうち**74.7%**)
が建設会社等へ就職

求職者の情報も公開



採用を
希望する求職者の
受付番号を
ご連絡ください

職業訓練修了者の内、求職者の一部情報(年齢、希望勤務地、希望職種、受講コース、保有資格)をWEBへ掲載しています。求人企業が求職者に興味・関心を持った場合は、受付番号をお問合せください。求職者とのマッチングを行います。

求職者の
年齢、希望勤務地
希望職種、
受講コース、
保有資格を
随時更新!!

建設企業への就職を目指しているので
就職後のミスマッチも軽減

採用に関するお問合せ先

(一財) 建設業振興基金 **03-5473-4589**

平成29年度は、全国24拠点で116の職業訓練コースを開催予定。1年間で1,000人の訓練生を募集しています。

委託者：厚生労働省
受託者：一般財団法人建設業振興基金

求人登録・お申込みは
事業ホームページへ

建設業 GET

検索

<http://www.kensetsu-kikin.or.jp/kunren/get>



HOPE

夢はでっかく。
長崎県内で、大規模な建物の工事に携わりたい



夢はでっかく――。

昨年10月から12月にかけて長崎県内で行われた建設業に就職するための技能訓練で出会った船津奨平さん(26歳)と久富聖太さん(20歳)。船津さんはコンビニエンスストアの元アルバイト店員。久富さんは定時制高校に通いながらテント製作会社に1年ほど勤務していた。ジャンルの異なる仕事をしていた二人だが、いずれも「建設業で働いてみたい」という思いを心に抱いていた。

親や親戚のおじさんが建設関係の仕事をしていたことが志望の動機にもなった。しかしそれ以上に二人にとっては、自ら研いた腕を試す格好の「場」が建設業であるという思いもある。通算40日以上に及び訓練は、時に厳しくも楽しいものだった。その中で、漠然と抱いていた建設業への思いが次第に明確になっていくことを互いに感じていた。

「多能工」を銘打った訓練では、鉄筋工、型枠工、コンクリート工など各種技能の基礎を学びながら、重機操作や様々な資格の取得にも挑戦。最初、作業に用いる道具の名前すらわからなかったが、訓練生同士で支え合いながら少しずつ覚える中で、自分が進むべき道も模索していった。

船津さんは、「経験と技術で人々が住む建物をつくりあげていく仕事」という表現で建設業を理解。自分もその世界に身を投げ、憧れの型枠職人となって「大規模な建物の建設に中心となって取り組んでみたい」と将来像を描く。

一方の久富さんは、「建設業は常に危険が身近にある仕事だと思う」と話し、仲間と助け合うチームワークで乗り切っていくことに魅力を感じている。そして船津さん同様、大規模な建物の建設に携わりたいとの思いが、長崎県内に「目指せスカイツリーを超えるビル」と、とてつもなく大きな夢を抱かせる。

訓練で実際の現場を訪れた際、話に聞いていた以上に若い人たちが少ないことを目の当たりにした。県内の建設現場で活躍する二人の姿が、若手の入職促進の一助になっていくことを期待したい。



1992年1月生
長崎県出身



1998年2月生
長崎県出身

久富聖太さん